



令和8年度 白川郷学園だより 白川村立白川郷学園

ひとりだち

TEL (05769)6-1366

FAX (05769)6-1903

ホームページ



～挑戦・創造・貢献～ <http://school.shirakawa-go.org>

子どもたちに「伝える力」「聴く力」を

白川郷学園 校長 川瀬 秀樹

学園は今、体育大会に向けて一色です。競技や応援の練習に加え、時間行動や身だしなみなどにも全校で取り組んでいます。こうやって日常活動を高める目的は、心をつなげて体育大会に向かっていけるように、互いに「関わり」を生み出すためです。

30日（土）はいよいよ体育大会本番です。取組から本気で取り組んできた子どもたちの姿を、是非、応援しに来てください。加えて、今年から復活(?)した地域種目「マイムマイム」も是非、子どもたちと一緒に踊りに来てください。

さて、話が変わります。今、対人関係づくりが苦手で、若者たちが社会に出て苦勞することが多いと聞きます。学力の上にさらに「協働」、つまり、立場や価値観が異なる多様な人たちと一緒に何かを創り上げていく力が求められる時代です。9年間、人間関係が大きく変わらない中で毎日を過ごす本校にあっては、安心感も得られますが、新しい人間関係の構築という面ではトレーニング不足になりがちです。「自分の考えを理解してもらえるように、建設的に主張する」、「自分と違う考えの人の話も冷静にしっかり聞いて、お互いが納得できるような着地点を見いだす」ことが必要になります。

右に示すのは、フィンランドの小学5年生が作った「会議のルール」だそうです。大人の議論でもなかなかできていないなあ…と私は反省しますが、いかがでしょうか。子どもたちがコミュニケーション能力を獲得できないのは、実は周りの大人の責任でもあると言われます。最後まで子どもの話を聞かないで先回りして言ってしまう、子どもたちに提言や議論をさせず、大人が代弁してしまう…ということはないでしょうか。

子どもたちが活躍する未来社会を想像しつつ、子どもたちに「伝える力」「聴く力」を身につけさせてあげませんか。ちょっとばかりじれったい時もありますが、話は最後まで聞いて、対話をしましょう。最後に、「話せてよかった。ありがとう。」と笑顔で終われるような時間をつくってみましょう。

【参考：「図解フィンランド・メソッド入門」北川 達夫、フィンランド・メソッド普及会著】

■会議のルール10か条

- 1 他人の発言をさえぎらない
- 2 話す時はダラダラ話さない
- 3 話す時には怒ったり、泣いたりしない
- 4 分からないことは、すぐに質問する
- 5 話している人の目を見て聞く
- 6 話を聞くときは他事をしない
- 7 最後まで、きちんと話を聞く
- 8 議論が台無しになるようなことを言わない
- 9 どんな意見も間違いだと決めつけない
- 10 議論が終わったら、議論の内容の話をしない

挑戦



1年生、初めての野菜の苗植え。大きな野菜がたくさん実るかな？毎日う水やりを欠かしません。

創造



学園集会で「結クラス」の発表。新しい仲間を温かく迎え入れる9年生の工夫あふれる演出。

貢献



額に汗し、広い掃除場所を一生懸命に雑巾で磨く9年生生徒。9年生の掃除の姿は全校の手本になっています。

挑戦始まる5月

1年生、たくさんのお兄さんお姉さんにかわいがられてきた1ヶ月。5月末の体育大会では、その1年生も主役として、元気よく走り回ります。

挑戦

5/7 LP 長認証式

各学年に任されたLP活動。その代表であるLP長へ認証状が渡されました。各LP長は皆、凛々しい表情。執行部前期代表児童は、LP長に期待することとして「昨年と違ったことを新しく生み出し、温かい学園に向けて、挑戦してほしい。」と話しました。



創造

5/7 結クラス発表

待ちに待った「結クラス発表」。9年生の発表方法も、非常に明るく、誰もが楽しみになりました。みんなが最高の笑顔。そして、みんなとハイタッチ。この仲間と遠足も給食も掃除も楽しんで活動しよう!!感想を聞くと、5年生児童は「昨年と同じ人もいたけど、違う人もいたから、誰とでも仲良くしたい。」5年生児童は「これから1年間一緒に歩いていって、遊んだり、給食を食べたりする中で、これまで関わってきた人もそうでない人とも、仲良くしたい。」と語りました。



5/13 白川保育園年長さん年中さん学園に来る

晴れた空の下、年長さん、年中さんが学園に来てくれました。元気いっぱい遊ぶ様子に、学園のみんなも元気をいただきました。1年生児童は「保育園の子と遊べて楽しかった。雲梯もできるようになった。」と喜びを話しました。

